

「新・湯治」効果測定アンケート調査 実施マニュアル

令和7年5月

【環境省】全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクト事務局

一般財団法人 日本健康開発財団

担当：三橋、高橋

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-1-4 画廊ビル8階

Email : toji@jph-ri.or.jp

Tel : 03-5290-1621 Fax : 03-5290-1622

(受付時間 月～金 10:00-15:00)

<目 次>

1. 事前準備について	2
2. 実施事例	3
3. アンケート回収後のデータベース作成について	4
4. 単純集計結果の活用とより深い解析の実施について	4
5. 広報・宣伝等への活用について	4
6. お問い合わせ先	5

全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクトについては、平成 30 年度より 6 年間に渡って全国の温泉地の協力の元、ほぼ同じ設問のアンケート集約を行い、20,000 件を超えるデータベースを作り上げてきました。この結果は全国の平均的な調査結果として打ち出すに十分な数であり、仮に一つの温泉地や一つの施設が独自にアンケート集約を行い、同様のデータベースを作り上げることが出来れば、全国データと比較した結果を導き出すことは容易であり、自らの温泉地の特性を洗い出すことによって広報・宣伝等に活用できるアピールポイントを見出すことが可能となります。

本マニュアルでは、自主的にアンケート調査及びデータ活用を行う際の手法・流れについて順を追って記載していますので、本書を参考にして、各温泉地での調査活動を実施してください。

1. 事前準備について

① アンケート用紙について

添付の「**アンケート調査用紙**」を両面印刷し、手交用として必要相当枚数を用意してください。このアンケートの設問項目は調査を開始した平成 30 年度よりほぼ変更することなく調査を行っているため、全国データと比較した自らの温泉地の特性を洗い出すためにはこの用紙に記載の設問項目について一切の変更を行うことはできません。また、温泉地ごとに独自の調査項目を追加することは問題ありませんが、あまり設問数を多くしたり、記述式の設問を入れたりしてしまうと回答に手間がかかり、回収率に影響が出てくるのが懸念されるため注意が必要です。

② 告知宣伝・広報活動について

アンケート回収を始めるにあたり、ポスターやチラシなどを作成して温泉地内で広報活動を行う必要があります。告知用のチラシ・ポスター類を作成し、館内やフロント回りに掲示するのが効果的です。

③ アンケートデータ回収数を増やすために

調査においては回収枚数を増やすことが一番の課題です。環境省による調査開始当初は、協力いただいた温泉地のご厚意により、回答をいただいた方にティッシュ・菓子・タオル・飲料などを謝礼としてお渡しいただきました。その後、環境省として「新・湯治特製クリアファイル」を作成し、各地で配布をいただきました。その他、各施設が独自に販促物を追加して配布していただいた事例も多く見受けられましたので、この点は各地の取り組みにおいて工夫が必要です。

④ アンケート集計時の注意点

今次アンケートの対象者は、それぞれの温泉を利用した成人の方（20歳以上）としています。既に蓄積しているデータベースはその前提条件で集約されている為、ここに異なるデータが含まれてしまうと、後のデータ比較検証の際に支障が出てくる可能性があるためご注意ください。

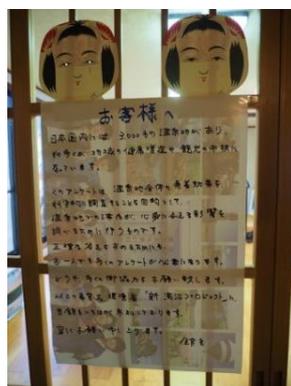
2. 実施事例

過去の協力温泉地の実施事例をご紹介します。参考にしてください。

- ・ブース、回収箱を設置した事例



(三重県保健環境研究所)



(鳴子温泉郷川渡温泉 高東旅館)



- ・入浴説明会や入浴プログラム参加者にアンケートを配布・温泉利用指導者等による聞き取りで回収

- ・謝礼品の配布（ティッシュ、菓子、タオル、飲料 等）



(三重県保健環境研究所)



(東海大学海洋学部 くにしき六郷温泉)

3. アンケート回収後のデータベース作成について

- ① アンケート用紙の回収が終了したら、その内容を別途 Excel ベースの「③データベース入力フォーム」へもれなく入力を行います。
- ② それぞれの項目への入力方法についてはフォームの「入力見本」のシートに詳細に記載していますので、こちらを参考としてください。
- ③ 複数の選択肢の中からひとつだけ選択する回答であれば、その回答番号をそのまま入力することになりますが、複数選択が可能な設問に対しては、それぞれの回答項目が選択されていれば「1」を、選択されていなければ「0」を入力します。
- ④ 「自由記述欄」については記載された回答をそのまま転記しておきます。後日、解析の方法として「テキストマイニング」という無料のツールを使用すれば、回答から頻出するワードを洗い出し、回答内容の特徴を浮かび上がらせることも可能となります。(その手法はネット上で検索してください)

4. 単純集計結果の活用とより深い解析の実施について

全てのデータ入力が完了すると「集計表」シートに単純集計結果が自動的に反映される仕組みとなっています。

その中でも「滞在時間(泊数)」「現在の健康状態」「旅行目的」「温泉の利用目的」「温泉地の主観的感想」「心身の主観的变化」「肌の状態の変化」「実施したアクティビティ」については、グラフも自動的に作成されます。また回答者の属性情報として「性別」と「年代」もグラフ表示されます。

この結果を見るだけでも、自分たちの温泉地への訪問客は「どのような目的で来ているのか」「温泉を利用した後どのような感想が顕著に表れているのか」「肌の変化にどのような特徴を感じている人が多いのか」「入浴目的以外のアクティビティの利用頻度はどの程度あるのか」などを把握することができます。

なお、全国 20,000 件のデータと比較して、更に詳しい解析を希望する温泉地・温泉施設は、まずは財団ホームページに掲載されている「全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクトデータ利用について」に掲載の手順に従い、全国データベースを入手し、ご自身の温泉地・温泉施設のデータと比較検証することが可能です。

このより深い検証については、事務局を担当する一般財団法人日本健康開発財団所属の研究者が別途、有料で、解析を行い、コメントを含めた報告書(10ページ程度)の作成及び、A4サイズ両面の「広報用シート(見本)」の形式にまとめ上げて返却いたします。ご希望の方は財団事務局あてにご相談ください。

5. 広報、宣伝等への活用について

以上のような流れで、各温泉地の調査解析データを得た結果として、その活用法として以下のような手法が想定できますので、ぜひ積極的に活用してください。

- * 温泉地として作成するポスター・チラシなど販売促進ツールへの掲載により観光客誘致に繋げる
- * 観光協会・温泉組合・各施設のホームページに詳細に掲載し、広く告知できる
- * 地元の新聞社やタウン誌などに情報を持ち込み、記事掲載により、地元民の興味を引くと共に、地元客・地域内需要の集客に繋げる
- * 興味深い結果が表れた場合は、近隣の大学・研究者などに情報提供し、より深い研究へと発展させ、学術論文の発表を行うことで、異なる分野への広報活動に繋がられる

6. お問い合わせ先

より深い解析のご希望、その他、ご不明な点は下記事務局あてにお問い合わせください。

一般財団法人日本健康開発財団

全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクト事務局

メールアドレス：info@jph-ri.or.jp

Tel：03-5290-1621（受付時間 平日（月～金）10：00～16：00）

以上